

財務諸表に対する注記

令和2年3月31日現在

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸の評価基準及び評価方法
棚卸の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、総平均法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定率法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額に基づき計上している。
貸倒引当金
一般債権・・・期末保有債権につき、貸倒実績率に基づき計上している。
貸倒懸念債権・・・期末保有債権につき、債権金額の50%相当額を計上している。
賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金積立資産	368,000,000	0	0	368,000,000
退職給付引当資産	23,217,200	0	0	23,217,200
財務調整引当資産	35,000,000	0	0	35,000,000
公益目的特定事業引当資産	43,500,000	0	12,500,000	31,000,000
国際学校奨学金引当資産	6,806,130	0	0	6,806,130
留学生支援募金事業引当資産	79,040	0	44,858	34,182
小計	476,602,370	0	12,544,858	464,057,512
合計	676,602,370	0	12,544,858	664,057,512

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	200,000,000	0	—
小計	200,000,000	200,000,000	0	—
特定資産				
運用基金積立資産	368,000,000	318,000,000	50,000,000	—
退職給付引当資産	23,217,200	0	0	23,217,200
財務調整引当資産	35,000,000	0	35,000,000	—
公益目的特定事業引当資産	31,000,000	0	31,000,000	—
国際学校奨学金引当資産	6,806,130	6,806,130	0	—
留学生支援募金事業引当資産	34,182	34,182	0	—
小計	464,057,512	324,840,312	116,000,000	23,217,200
合計	664,057,512	524,840,312	116,000,000	23,217,200

4 担保に供している資産

該当なし

5 保証債務等の偶発債務

該当なし

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
大阪市債	160,000,000	162,987,800	2,987,800
国債	208,000,000	234,130,800	26,130,800
合計	368,000,000	397,118,600	29,118,600

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
大阪市交付金	大阪市	0	91,693,913	91,693,913	0	—
補助金						
受取民間助成金	自治体国際化協会	0	1,765,193	1,765,193	0	—
合計		0	93,459,106	93,459,106	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
受取寄付金への振替額	2,021,043
合計	2,021,043